事務事業名		観光宣伝誘客事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和39 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興			
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実			
根拠法令				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	
所属	部課名	商工港湾部観光推進室			
	課長名	鈴木 弘			
	係名	電話	0192-27-3111		
	担当者	松川 直史	内線 115		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市の観光(名所・風景・体験メニュー・食・イベント・宿泊施設等)をPRし、多くの観光客を大船渡市に誘致するため、観光パンフレットや観光ポスターの作成や情報発信等様々な事業を行う。 主な業務は、①ポスターの企画コンペ・作成(委託)、②観光パンフレットの企画コンペ・作成(委託)、③観光案内等の対応(観光客、旅行代理店等)、④市ホームページの情報更新、⑤一般社団法人大船渡市観光物産協会)に対する観光客誘致拡大助成事業補助、⑥千石船「気仙丸」管理・運営委員会(事務局:大船渡商工会議所)に対する千石船管理運営補助。事業費は、ポスター、パンフレットの印刷費、補助金として支出される。					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 観光パンフレット及び観光ポスターの作製、ホームページの更新、観光客からの観光地や宿泊地の問合せへの対応、雑誌等取材対応等。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年実施と同様	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 観光パンフレット・リーフレット作製部数</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>イ 観光ポスター作製枚数</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>ウ ホームページ更新件数</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 観光パンフレット・リーフレット作製部数	部	イ 観光ポスター作製枚数	枚	ウ ホームページ更新件数	件
名称	単位								
ア 観光パンフレット・リーフレット作製部数	部								
イ 観光ポスター作製枚数	枚								
ウ ホームページ更新件数	件								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・潜在的な観光客	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 全国の人口</td> <td>万人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 全国の人口	万人	キ		ク	
名称	単位								
カ 全国の人口	万人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・観光スポット、イベント、宿泊施設・交通アクセス等を知ってもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 観光入込客数(年実績)</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>シ 市のホームページ観光トップページへのアクセス数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 観光入込客数(年実績)	千人	シ 市のホームページ観光トップページへのアクセス数	件	ス	
名称	単位								
サ 観光入込客数(年実績)	千人								
シ 市のホームページ観光トップページへのアクセス数	件								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ①大船渡市を訪れる。 ②魅力がPRされ、認知度が高まる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度						
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	4,450	3,816	3,306	4,046	4,475	5,144	
	事業費計(A)	千円	4,450	3,816	3,306	4,046	4,475	5,144	
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	1	2	
	延べ業務時間	時間	150	150	150	150	130	150	
	人件費計(B)	千円	600	600	600	600	520	600	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,050	4,416	3,906	4,646	4,995	5,744	
⑤活動指標	ア	部	30,000	55,000	40,000	50,000	60,000	60,000	
	イ	枚	800	0	0	700	700	700	
	ウ	件	30	50	30	25	30	50	
⑥対象指標	カ	万人	12,763	12,752	12,722	12,706	12,692	12,706	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	千人	データなし	1,016	1,020	1,125	883	1,200	
	シ	件	データなし	15,317	11,245	12,267	9,475	20,000	
	ス								

事務事業ID	0443	事務事業名	観光宣伝誘客事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 事業開始年度は不明。昭和39年に陸中海岸国立公園に碁石海岸が編入されたことを契機として、観光ポスターやパンフレットの制作と配布を行ってきた。以降、県内外の観光施設や岩手県の出先機関等を設置するようになった。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・東日本大震災から5年が経過し、観光施設の再開など、震災以前の観光客の受入体制整備が進んだことにより、三陸沿岸一帯への観光客数は回復傾向にある。しかし、これまで市内の宿泊施設等を利用していただ復興関連事業者の減少傾向に伴い、市内宿泊施設の利用も減少傾向となり、観光客の入込客数も大幅に減少している。 ・平成28年度、商工港湾部内の組織機構の改革の見直しにより、観光推進室が新設された。(平成27年度までは、商業観光課観光物産係が担当)	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 大船渡市を訪れる観光客等から、市内全般(碁石海岸など)で観光客に対する誘導案内が足りないとの声が寄せられている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】	<p>この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？</p> <p>県内外の観光施設等にポスター及びパンフレット配置やホームページにより情報発信をすることにより、市内の観光スポットやイベント等を知ってもらい、大船渡市への観光入込数やイベント等への誘客数増加に結びついている。</p>
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】	<p>なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？</p> <p>大船渡市を訪れる観光客が増え、宿泊や観光消費額が増えることによって、経済波及効果が期待できることから、市が関わることは妥当である。</p>
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】	<p>対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？</p> <p>観光ポスター及びパンフレットを作成し、大船渡市の観光スポットやイベントに訪れようとする観光客に配布することは、事業の成果に結びつける有効な手法であり対象・意図は適切である。</p>
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	<p>成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？</p> <p>観光ポスター及びパンフレットを作成し、県内外に配置しているが、十分ということはありません、より効果的もしくは、計画的に配置することで向上する余地はあると考える。また、市ホームページやTwitter等を活用しながら、観光客にとって有用な最新の情報を発信していくことが重要である。</p>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	<p>事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？</p> <p>この事業の廃止は、大船渡市の観光PRをする機会を失うこととなり、大船渡市への観光客数減少等による地域経済の縮小が危惧される。</p>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】	<p>観光施設整備事業、広域連携推進事業</p> <p>他事業とも繋がりはあるが、他事業では大船渡市の観光に特化した宣伝をすることは困難であるため、統合はなされない。</p>
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	<p>成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)</p> <p>観光ポスター及びパンフレットを作製して、県内外に配置することは、成果達成のためには十分であるとはいえない状況にあり、事業費の削減は成果の低下に直結する。</p>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	<p>やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)</p> <p>部分的には、一般社団法人大船渡市観光物産協会事業として実施することは可能と思われる。</p>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	<p>事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？</p> <p>一部受益者負担となっているが、観光パンフレット等は市内全域の観光資源が対象となるものである。</p>

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>この事業は、観光情報等を求める観光客等に対し、サービスを提供する業務であり、大船渡市のイメージアップと観光客の誘致を図るためには重要な事業である。 観光客に対する誘導案内が足りないとの声が寄せられていたことから、簡易看板ではあるが、基石海岸までの誘導看板を10箇所を設置し、利便性の改善に努めた。</p>									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>部分的に可能なものは一般社団法人大船渡市観光物産協会に移管する方向で検討する(財源委譲含み)。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>この事業を大船渡市観光物産協会に移管することが現実的に可能かどうか(現在の協会の体制で出来るか)、可能な場合、事業費を運営補助金の中に入れてみるか等について検討が必要となる。これが可能かつ効率と判断されるのであれば部分的に協会に移管していく。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	観光推進室長	鈴木 弘
---------------	-------	--------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p>☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p>☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>・より効果的な情報発信の充実を図ることで、成果の向上が期待できる。 ・市と(一社)大船渡市観光物産協会の役割分担の見直しを図ることにより、コスト削減の可能性はある。</p>									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・平成26年度に策定した大船渡市観光ビジョンに基づき、具体的施策を展開していく。 ・市と(一社)大船渡市観光物産協会の今後のあるべき体制や役割分担について協議を行う。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●	○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●	○	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項